



マンスリータイムズ みはま 11月号②

パラフットボール教室を開催しました!

11月13日(水)、一般社団法人パラフットボール協会関係者の皆様、及びパラフットボール(デフサッカー)日本代表の古島啓太選手に来校していただき、パラフットボール教室を開催しました。現在ではパラリンピックの認知度も高く、皆さんご存じだと思いますが、「パラ」とは「パラレル」=「平行」「もう一つの」という意味があります。様々な障害のある人たちがサッカーを楽しみ、取り組まれていることを教えていただきました。

最初は緊張した様子だった生徒たちでしたが、楽しい雰囲気です。リズムジャンプやボールオリエンテーリングを行っていくことで、自然と笑顔になり、徐々に緊張がほぐれていきました。また、古島選手からは手話での表現(赤や緑など主な色の名前、拍手、ありがとう)を教えていただき、教室の後半では、自ら手話表現を使ってコミュニケーションをしようとする生徒もいました。ゴールゲームや試合形式など、みんなで楽しみながら大変良い時間を過ごすことができたと思います。



県内では本校でのみ開催された教室です。中央の紫色のウェアが古島選手です。



見えない人の世界を知ろう~二学部高3 生活と福祉~

11月13日に、二学部高3学校設定科目「生活と福祉」では視覚障害や、視覚障害の人の生活をテーマにした学習に取り組みました。当日は県立和歌山盲学校より吉瀬先生・梶本先生のお二人の先生を講師にお招きしました。梶本先生は視覚障害当事者です。徐々に病気が進行し視力が低下し、見えなくなっていた様子や、見えない状況で生活にどのような工夫を取り入れているかなどお話いただきました。「見えなくなって、カップラーメンを作るのが難しくなった。カップの線までお湯を入れる、具材は後で入れるとか難しい。インスタントは焼きそばが作りやすい!」といった具体的なお話にみんな興味を惹かれました。その後、吉瀬先生からガイドヘルプの方法を教えていただき、実際にアイマスクを付け、互いに校舎内を誘導したりしました。今回学んだことを、これからの生活の中でぜひ、活かしてほしいと思います。



PTA 交流会は大盛り上がり!

11月12日の松林清掃活動のあと、ボランティアで参加いただいた保護者の方を対象にPTA交流会を開催しました。事前に伺っていた「みんなで話したいテーマ」をもとに、子育ての悩みなどをみんなで出し合いました。自己紹介の段階で、会場は大盛り上がり。あっという間に時間が過ぎていきました。

「おもしろおかしく悩みを相談しあえて、新しいママ友がたくさんできたような気分です」
「皆同じように悩みがあることが解って、心強くなりました」といった感想がきかれました。



芸術の秋です

11月16・17日に美浜町体育センターにおいて、美浜町文化協会文化展が開催されました。みはま支援学校にも出展のお声がけをいただき、今年も児童生徒の作品を展示していただきました。こういった機会を通じ、地域の方に本校の実践を発信していきます。

